東濃地区の子育て・親育ち通信

家庭教育 なう vol.6

２０２１年７月発行
恵那県事務所振興防災課　家庭教育担当　嶋倉
〒509-7203 恵那市長島町正家後田1067-71
TEL 0573-26-1111〈内線209〉
FAX 0573-25-7129
Mail shimakura-shinzo@pref.gifu.lg.jp

家庭教育学級リーダー研修会
小中の保護者向けに代替研修会を開催

家庭教育学級リーダー研修会の代替として、各市の様々な会に少しだけ時間をいただき、研修会を進めています。そのうち、各市ＰＴＡ連合会（以下市Ｐ連）の家庭教育担当役員さんの研修会での様子を紹介します。

多治見市Ｐ連 家庭教育委員会で

多治見市Ｐ連第１回家庭教育委員会が６月22日、行われました。メインの研修は、「今伝えたい生と性の話」と題した宮口晴子助産師による講話でした。宮口助産師は、園や学校で性教育を積極的に進めている「いのち伝え隊」の代表でもあります。保護者を対象に講演されることはあまりないとのことですが、園や学校での性教育をどのように進めているかを画像や具体物を示しながら話していただけました。親子の間でもついつい避けてしまいそうですが、避けては通れない事柄なので、ぜひ家庭教育学級の学習素材の一つとして取り上げて、親同士で意見交流をしたら学ぶことが多いだろうと思います。

この講演の後に、家庭教育推進専門職から、特にサロン型で研修を進めることの意義や方法についてお話しし、参加者には、宮口助産師の講話を題材に実際にサロン型の意見交流をしていただきました（下の写真）。

サロン型で意見交流する家庭教育委員の皆さん（多治見市）

瑞浪市Ｐ連 母親委員会
恵那市Ｐ連 家庭教育委員会で

瑞浪市Ｐ連第１回母親委員会が６月22日夜に行われました。また、恵那市Ｐ連第１回家庭教育委員会も同日夜に行われました。家庭教育専門職は、瑞浪市の会の前半と恵那市の会の後半に出席させていただき、家庭教育の意義と、サロン型の家庭教育学級運営について、さらに「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を活用した在宅取り組みのことを中心にお話ししました。

今回は、小中学校とＰＴＡの家庭教育担当者向けです。

研修アンケートより

サロン型での注意点「話しすぎない。何度も話す機会をお互いに作る。終了時間になったら切る。最後に代表者が感想を発表する必要はない。余韻を残して終える。」何もかも気が楽になるお話でとても勉強になりました。

▼「あ～楽しかった。」と気持ちよく帰っていただいて、次の会には一人誘ってきていただく…。その仲間の輪が少しずつ広げられるように取り組みたいです。

家庭教育学級の大切さを熱く語ってくださり、何よりも親同士が仲良くなることが大切だとわかった。

▼子育ての知識や技能を身に付けることも大切なことですが、まずは親同士の関係作りこそが子どものために生かせる第一歩ではないかと思います。

研修用ＤＶＤは各自の都合に合わせて見られるのでありがたいです。

▼研修素材として「みんなで子育て３」の印刷物と、スマホからアクセスできるネット上のデータ、さらにＰＣから読み出せるＤＶＤと、３通りのデータ提供を試みました。環境や用途に合わせて活用していただけると準備した甲斐があります。